

平成 27 年 4 月 23 日

各 位

株式会社 北洋銀行

平成 26 年度「ほっく一基金」贈呈先の決定について ～北海道の「生物多様性保全」に取り組む 7 団体に総額 700 万円を贈呈します～

北洋銀行は、「ほっく一基金選定協議会^(※)」における協議を踏まえ、北海道の「生物多様性保全」に取り組まれている 7 団体を、平成 26 年度「ほっく一基金」(別紙参照)贈呈先として決定しました。

各団体には、下記日程で開催予定の贈呈式において、それぞれ 100 万円を贈呈させていただきます。これにより、平成 22 年の基金設立以来、基金からの贈呈は延べ 26 先 2,940 万円となります。

当行は、これからも環境に配慮した商品や金融サービスの提供を通じて、環境保全に取り組むお客さまを支援するとともに、CSR を経営の重点課題と位置づけ、「地域社会への貢献」に引き続き取り組んでまいります。

(※)選定の妥当性・公平性・透明性を図るため、北海道、北海道環境財団、日本動物園水族館協会、当行のメンバーにより構成。

記

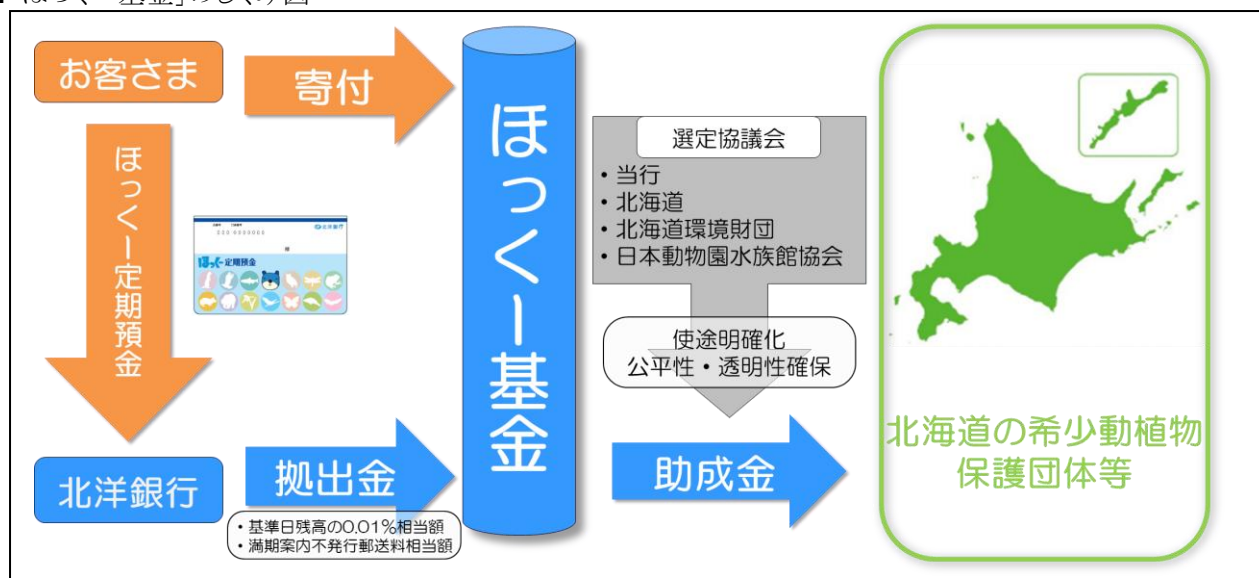
<「ほっく一基金」贈呈式 開催日程>

日時	贈呈先	場所
5 月 22 日(金)13 時	<small>まりぎしやま</small> 嵯山自然保護協議会	芦別市役所内
6 月 4 日(木)14 時	札幌ワイルドサーモンプロジェクト	札幌市豊平川さけ科学館内
6 月 5 日(金)14 時	北海道自然史研究会	北海道博物館内
6 月 12 日(金)14 時	北海道生物多様性保全活動連携支援センター	北海道環境財団内
6 月 12 日(金)14 時 10 分	第 5 回国際野生動物管理学術会議 (冠シンポジウム開催)	北海道環境財団内
7 月 31 日(金)13 時	NPO 法人エトピリカ基金	浜中町総合文化センター内
7 月 31 日(金)17 時 30 分	釧路市動物園	釧路市動物園内

以 上

1. ほっくー基金の概要

■「ほっくー基金」のしくみ図



■ほっくー定期預金

「ほっくー基金」の主な原資として、「ほっくー定期預金」を全店でお取り扱いしています。お客さまからお預け入れていただいた「ほっくー定期預金」3 月末時点残高の 0.01%相当額と、満期案内不発行により削減できる郵送料相当額を、当行は「ほっくー基金」に拠出いたします。これにより、お客さまは金銭負担なく、間接的に「ほっくー基金」へ参加でき、北海道の生物多様性保全に貢献いただくことができます。

2. 贈呈先の詳細

贈呈先	活動内容	使途
嵯山自然保護協議会 (芦別市)	平成11年より入山制限を行っている嵯山に生息する高山植物の保全活動や、普及啓発活動を実施しています。	・保全活動にかかる機材購入費用 ・勉強会の開催費用
札幌ワイルド サーモンプロジェクト (札幌市)	豊平川に回帰する野生サケの維持や、普及啓発活動を実施しています。	・サケに固体ナンバーを付す機材購入費用 ・フォーラム等の開催費用 ・市民の意識調査費用
北海道自然史研究会 (札幌市)	道内にある自然史系博物館のネットワークを活用し、所蔵している標本や学芸員の知識・経験を用いて、自然史研究、展示事業、生物多様性や希少種の重要性にかかる普及啓発活動を実施しています。	・漂着生物にかかる普及啓発活動費用 ～ハンディガイド作成 ～観察キット作成 ～北海道博物館(H27.4.18 オープン予定)で開催する「北海道の漂着生物展」制作（展示終了後、道内の博物館等で巡回展示を予定）
北海道生物多様性保全 活動連携支援センター (札幌市)	生物多様性保全についての普及啓発活動や、外来種駆除活動への支援等を実施しています。	・外来種セイヨウオオマルハナバチ駆除活動の支援にかかる費用
第5回国際野生動物 管理学会 (札幌市)	国内外の研究者約 1,000 名が参加する、野生動物管理学における世界最大の会議です。(国内初開催)	・同会議内で冠シンポジウムを開催し、生物多様性にかかる人材育成を目的として、道内の高校生 150 名を無料ご招待します。
NPO 法人エトピリカ基金 (浜中町)	絶滅危惧種エトピリカをはじめ、海鳥類の分布・飛来状況調査、海上へのデコイ(類似模型)設置による誘引、小学校等での環境教育を実施しています。	・海鳥類の分布・飛来状況調査費用 ・デコイ設置費用 ・普及啓発活動費用
釧路市動物園 (釧路市)	傷病タンチョウの治療や、シマフクロウの保護増殖など野生動物の保護・育成に取り組んでいます。	・シマフクロウの保護増殖にかかる費用 ・シマフクロウ専用ケージ設置費用